

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
自己発見	2 単位 人間を知る	宗教と人間	山下 智子	1 年次	秋

授業のキーワード	私たちの生きる世界、命、キリスト教倫理
授業の概要・目的 及び修得させる知識・技能	この授業では現代社会に生きるわたしたちが取り組まなくてはならない課題の中からいくつかを選び、その問題について学び、加えて現代キリスト教がその問題どう答えようとしているかを考えていきます。前半は世界で問題となっている命にかかわる問題（貧困、戦争、食、環境など）などについて、後半は日本で問題となっている命にかかわる問題（いじめ、自殺、虐待、終末医療など）について取り上げます。
履修のアドバイス・ 前提科目等	キリスト教入門や集中講座ボランティア活動を受講してもっとキリスト教的な考えを学びたいと思った方にお勧めします。特にボランティア活動と合わせて受講することが望ましい科目です。授業では予定されているテーマについてグループで発表します。グループ発表の形式は自由ですので、資料を用意し面白いものにしてください。

授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第 1 講	オリエンテーション	この講義の目的と進め方・発表のやり方などについて説明します。	第 9 講	日本で命を考える 身近な死	愛する人やペットを亡くした体験について考えてみましょう。
第 2 講	私たちが生きる世界 貧困	なぜ世界には貧しさがあるのでしょうか。	第 10 講	日本で命を考える ターミナルケア	「よく死ぬことはよく生きること」というのはどういうことでしょうか。
第 3 講	私たちが生きる世界 戦争	宗教は本当に戦争の原因なのでしょうか。	第 11 講	日本で命を考える 自傷	自傷行為はなぜおこるのでしょうか。
第 4 講	私たちが生きる世界 食	食の問題は、世界にどうかかわっているのでしょうか。	第 12 講	日本で命を考える 自殺	自殺を防止するために私たちができることは何でしょうか。
第 5 講	私たちが生きる世界 子ども	子どもが子ども時代をうばわれるとはどういうことでしょうか。	第 13 講	日本で命を考える ボランティア	命と命をつなぐ絆、ボランティアについて考えましょう。
第 6 講	私たちが生きる世界 環境	地球の環境と未来にわたしたちはどんな責任があるのでしょうか。	第 14 講	まとめ	これまでの授業を振り返りまとめをします。
第 7 講	日本で命を考える いじめ	いじめや虐待はどうして起こり、どうすれば防げるのでしょうか。	第 15 講	期末レポートまたは試験	
第 8 講	日本で命を考える 虐待		評 価 方 法		課題（発表、レポートなど）70% 平常点（授業態度、出席状況）30%
備 考 (関連する資格・試験等)					
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
池田香代子、マガジンハウス編『世界がもし 100 人の村だったら総集編』、マガジンハウス、2008			神田健次編『<講座>現代キリスト教倫理 1 生と死』日本基督教団出版局 1999 年 金子啓一編『<講座>現代キリスト教倫理 3 日本に生きる』日本基督教団出版局 1999 年 栗林輝夫編『<講座>現代キリスト教倫理 4 世界に生きる』日本基督教団出版局 1999 年		